

秋田米フォーラム2020

「美味しい」あきたこまち「コンテスト」管内2名が入賞



1



2

- 1 コンテストの入賞者
- 2 気象予報士の
渡辺さんによる基調講演
- 3 表彰を受ける宇佐美さん(右)
- 4 仲山さんの代理で
表彰状を受け取る明美さん

12月9日(水)、JAGグループ秋田とJA全農あきたが主催する「秋田米フォーラム2020」が秋田キャッスルホテルで開催されました。高品質な秋田米の生産とブランドの確立に向けて県内関係者の意識統一を図るため、令和2年度産米の生育経過の分析や新品種「サキホコレ」の品種特性に関する情報提供などが行われました。

令和2年度産米を対象に審査が行われた「美味しい」あきたこまち「コンテスト」の結果発表と表彰式も行われ、当JA管内からは宇佐美保治さん(秋田市下新城)と仲山重孝さん(秋田市下新城)が優良賞(全農秋田県本部県本部長賞)を受賞しました。

基調講演では、NHKなどで気象キャスターを務めた三種町出身の渡辺博栄さんが、温暖化による気候変動と農業への影響について解説しました。



3



4

NEWS & TOPICS

秋田米新品種「サキホコレ」PR活動が盛ん

秋田米の新品種「秋系821」の名称が11月17日(火)に「サキホコレ」と発表され、令和4年度の市場デビューに向けたPR活動が活発になつていきます。

新名称のポスターなどが県内外の各地に掲示され、11月下旬からは先着でおにぎりやサンプル米を貰ったり、県庁食堂やレストラン、旅館などで「サキホコレ」を食べたりすることができる「ネーミング決定キャンペーン」が行われました。当JAの管内でもスーパーや米穀販売店をはじめ、直売所「いぶきの里」「あぐりんないち」やAコープ大正寺店などでもサンプル米が配布され、本格デビューの一足先に「サキホコレ」を味わおうと、多くの人が来店しました。



JA秋田なまはげ会館内に掲示された「サキホコレ」ポスター

「美味しい米」コンクール食味官能審査会

12月18日(金)、令和2年度の「美味しい米」コンクールの食味官能審査会が秋田県総合保健センターで開かれました。米穀販売関係者や当JAの役員など14名が、最終審査に残った「あきたこまち」6点と「ひとめぼれ」3点を総合的な観点から評価しました。審査員は白米を顔を近づけて香りを嗅ぎ、粒の形やつやなどを観察したほか、基準米と交互に味わいながら粘りや硬さを確かめました。

同コンクールは今年で8年目となります。今年度の審査結果は1月下旬に発表され、最優秀賞に輝いた米は直売所「いぶきの里」「あぐりんないち」で限定販売される予定です。



米を味わい食味を評価する審査員

